

令和5年度釧路市立北中学校「学校評価『教職員アンケート』」【12月】

【結果分析】

4：している 3：どちらかといえばしている 2：あまりしていない 1：していない

評 価 項 目		4	3	2	1
1	私は、学校経営理念（「生徒を育てる学校」から「生徒が育つ学校」へ）の実現を常に意識し、当事者意識をもって各種実践や業務に取り組んでいる。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
		47.4%	52.6%	0.0%	0.0%
2	私は、目指す生徒の姿（自分の足で立ち、自分の頭で考え、他者と対話し協働できる生徒）の実現を常に意識し、日常の授業改善や分掌業務、学級経営等に取り組んでいる。	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%
		63.2%	31.6%	5.3%	0.0%
3	私は、生徒が4つの力（人を大切にする力、自分の考えをもつ力、自分を表現する力、挑戦しやり抜く力）を獲得するよう、日常の授業改善や分掌業務、学級経営等に取り組んでいる。	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%
		47.4%	47.4%	5.3%	0.0%
4	私は、「生徒が主語」となる授業（行事）の実現を目指すため、不断の授業（行事）改善を推進している。	47.1%	47.1%	5.8%	0.0%
		56.3%	31.3%	12.5%	0.0%
5	私は、生徒が「学びの自己調整力」を発揮しながら家庭学習を推進できるよう仕掛けている。	12.5%	37.5%	43.8%	6.2%
		18.8%	62.5%	18.8%	0.0%
6	私は、生徒が「学びの自己調整力」を発揮しながら生活習慣を確立できるよう仕掛けている。	29.4%	47.1%	17.6%	5.9%
		26.7%	60.0%	13.3%	0.0%
7	私は、「授業で勝負できる教師」の実現を目指すため、積極的に校内研修に参加している。	35.3%	52.9%	11.8%	0.0%
		37.5%	56.3%	6.3%	0.0%
8	私は、生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を取り入れた学級経営を推進している。	37.5%	43.8%	12.5%	6.2%
		43.8%	43.8%	12.5%	0.0%
9	私は、学級経営において学級経営計画を活用し、検証改善サイクルを確立している。	6.3%	62.5%	25.0%	6.2%
		12.5%	56.3%	31.3%	0.0%
10	私は、互いが適度に依存し合うこと（自律）を目指した通常学級と特別支援学級の交流を図っている。	6.7%	68.8%	18.8%	6.7%
		12.5%	50.0%	37.5%	0.0%
11	私は、学校における働き方改革の趣旨を理解している。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%
		63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
12	私は、当事者意識をもって業務改善を推進している。	45.5%	36.4%	18.1%	0.0%
		42.1%	52.6%	5.3%	0.0%
13	本校は、独自の「アクションプラン」を策定している。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
		68.4%	26.3%	5.3%	0.0%
14	本校は、コアチームによる不断の業務の見直しが図られている。	45.5%	45.5%	9.0%	0.0%
		52.6%	42.1%	5.3%	0.0%
15	私は、活動方針を踏まえて部活動を実施している。	46.7%	33.3%	20.0%	0.0%
		50.0%	31.3%	18.8%	0.0%
16	本校は、部活動の地域移行に向けた情報を発信している。	9.1%	27.3%	40.9%	22.7%
		5.3%	47.4%	47.4%	0.0%

17	本校は、学校 DX（ICT を活用した授業改善、業務改善、保護者等との情報の連携・共有）を推進している。	31.8%	63.6%	4.4%	0.0%
		47.4%	42.1%	10.5%	0.0%
18	本校は、ICT 活用力の向上を図るコアチームによる定期的な研修を実施している。	18.2%	31.8%	50.0%	0.0%
		10.5%	47.4%	42.1%	0.0%
19	本校は、ねらいを明確にして組織的に「小中ジョイントプロジェクト」を推進している。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
		63.2%	31.6%	5.3%	0.0%
20	本校は、「地域で目指す生徒の姿」を明確にして「地域とともにある学校」づくりを推進している。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
		31.6%	63.2%	5.3%	0.0%
21	本校は、学校経営参画意識の醸成を図る戦略的な学校評価が実施されている。	31.8%	59.1%	9.1%	0.0%
		47.4%	47.4%	5.3%	0.0%
22	私は、登校に困り感を抱える生徒の学びを保障している。	9.1%	50.0%	36.4%	4.5%
		21.1%	68.4%	10.5%	0.0%
23	本校は、登校に困り感を抱える生徒の社会的復帰に向けた支援を行っている。	27.3%	45.4%	27.3%	0.0%
		31.6%	57.9%	10.5%	0.0%
24	私は、生徒が道徳的实践力を獲得する道徳教育を推進している。	11.1%	72.2%	11.1%	5.6%
		41.2%	47.1%	11.8%	0.0%
25	本校は、豊かな心を育む読書活動を推進している。	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
		26.3%	57.9%	15.8%	0.0%
26	本校は、いじめや災害等に対する危機意識の醸成を図る各マニュアル等の不断の見直しが図られている。	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%
		26.3%	52.6%	21.1%	0.0%

上段は7月、下段は12月の集計

【学校改善のアイデア】

- 登校に困り感をもつ生徒の支援について、オンライン授業の実施や別室の整備など、環境が整備されてきています。今後は当該の生徒について、ゴールを明確にした個別の教育支援計画を作成し、具体の支援策等を共有する機会を設定する。
- 各種のマニュアルについて、担当者が中心になって見直しを進め、実質化を図っていく。なお、次年度に向けて、「熱中症対応」のマニュアルを作成する必要がある。
- ゆとりをもって本来業務に専念できるよう、業務の精選や平準化、個業より協業の優先などは必至である。働き方改革を更に加速化する必要がある。
- 職員室内の心理的安全性を今以上に醸成させ、風通しのよい環境をつくっていく必要がある。
- 地震や火災等の災害時における避難経路を可視化する。

【改善の方向性】

- 9 学級目標の実現状況を把握するため、定期的にアンケート等を実施し、生徒の姿から学級経営計画を見直します。また、学期末や年度末など、学級経営の節目に全体交流を実施し、互いの学級経営の状況を共有します。
- 10 特別支援学級における日常の授業の状況について、全ての教員が把握できるよう授業参観等を行います。また、交流・共同学習のねらいについて全教職員で再確認するとともに、全体目標や個別目標を位置付けるなどして、通常学級と特別支援学級の生徒が協働して取り組む機会を設定します。
- 16 「釧路市立学校における部活動の方針」を踏まえ、本校独自の部活動の方針を策定し、ホームページ等で公開します。
- 18 校務支援システムの導入についての窓口を「ICT コアチーム」として、本システムの活用に向けた校内研修を実施します。

※ 肯定的な回答が7割未満の質問項目を課題として捉え、改善の方向性を示しています。